



相談支援員 M・A さん
相談支援事業所（ぱっそ・あ・ぱっそ）勤務
平成 23 年度採用

先輩職員からのメッセージ

相談支援専門員として働くには、資格の取得と一定の実務経験が必要となりますので、すぐに働くことは難しいですが、直接支援の経験も活かすことができます。また、現場での関わりも相談支援につながります。まずは現場で経験を積み、その経験を活かして、ぜひ一緒に働きましょう！

質問 1：姫路市社会福祉事業団で働こうと思ったキッカケは？

学生時代の友人が臨時職員として勤めており、その友人から正規職員募集の案内を受けてことで興味を持ち、採用試験を受験しました。

質問 2：働いている施設の概要と、その中でのあなたの仕事内容を教えてください。

相談支援事業所ぱっそ・あ・ぱっそに所属し、相談支援専門員として働いています。障害のある方や、そのご家族等から寄せられる相談に対して、電話・訪問・来所などの方法で、利用者本人の意向を確認しながら、サービス利用計画を作成しています。相談の内容によっては、生活の中の困りごとだけでなく、やりたいことや将来の目標を一緒に考えることもあります。

質問 3：仕事の面白さややりがいなどはありますか？

入所施設やグループホーム、自宅、通所施設など、利用者本人に関わる関係機関に出向き、その時々の様子を見られることや、課題解決のため関係機関と連携すること、支援を通して出会った頃より利用者本人が頑張っていたり、イキイキとした姿を確認できること、利用者の「強み」「良いところ」を見つけていけることが嬉しいです。

質問 4：仕事をするうえで心がけていることなどはありますか？

利用者やその家族の一番身近なサポーターであり、安心できる存在でありたいと思っています。そのためにも、丁寧な言葉や真摯な態度で話を聴くとともに、利用者本人が主体的に決めることができるように、情報提供や提案をするように心がけています。

質問 5：職場の雰囲気教えてください。

悩みや嬉しかったことなどを親身になって聴いてくれる、雑談も真剣な話もしやすい雰囲気です。また、話を聴いてもらえて良かったと思うほど、話を聴いてくれるため、人の話を「聴く」仕事である相談支援員の見本として、利用者への関わり方、言葉遣いなどの勉強にもなっています。

質問 6：今後の目標を教えてください。

先輩方は、日中の業務をこなしつつ、相談支援の研修講師や研修の企画・運営に携わるなど、姫路市以外の地域でも活躍されているので、いつかは自分もそういった相談支援員の人材育成等に携わっていきたいと思っています。

一日のスケジュール

午前 8 時 35 分から午前 8 時 45 分	朝礼
午前 8 時 45 分午前 9 時	記録・書類作成
午前 9 時から午前 11 時 50 分	通所先の事業所に訪問し、サービス担当者会議を開催する
午前 11 時 50 分から正午	事務所に戻り、会議録を作成
正午から午後 1 時	昼休み
午後 1 時から午後 2 時	利用者からの電話相談対応
午後 2 時から午後 3 時 30 分	利用者宅を訪問し、サービス更新のためのアセスメント
午後 3 時 30 分から午後 5 時	別の利用者宅に移動し、モニタリング（本人・家族からの聞き取り）
午後 5 時から午後 5 時 20 分	事務所に戻り、書類を作成
午後 5 時 20 分	退勤